



一般社団法人社会情報学会 (SSI)

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17

三鷹ビジネスパーク SOHO プラザ A-301

Tel /Fax : 0422-54-4633 e-mail : office@ssi.or.jp

社会情報学会 (SSI) 会費等振替口座 (ゆうちょ銀行振替口座)

- ・加入者名 (一社) 社会情報学会
- ・口座番号 00150-4-608268

目次

- I 2012 年度定時社員総会議事録・2012 年度第 1 回理事会報告
- II 2011 年度第 1 回一般社団法人社会情報学会理事会議事録 (2012 年 3 月 4 日開催)
- III 委員会報告
- IV 2012 年社会情報学会(SSI)学会大会
- V 事務局より

I 2012年度定時社員総会議事録・2012年度第1回理事会報告

I-1 一般社団法人社会情報学会 2012年度定時社員総会議事録

1. 開催日時 2012年6月30日(土)16:00-16:30
2. 開催場所 中央大学駿河台記念館
3. 総社員数 2名
4. 出席社員数 2名
5. 議長 代表理事・社員 伊藤 守
6. 出席 代表理事・社員 伊藤 守
社員 廣松 毅
監事 藤井史朗

7. 議事録作成者 事務局 和泉恵子

8. 決議事項

- 第1号議案 2011年度事業報告
第2号議案 2011年度収支決算報告書
第3号議案 2012年度事業計画
第4号議案 2012年度収支予算

9. 議事概要

伊藤守代表理事より、定足数を充たす出席が認められたので、定款第25条により伊藤守代表理事は議長に就き、社員総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、ただちに議事に入った。

第1号議案 2011年度一般社団法人社会情報学会事業報告

議長は議案を諮り、全会一致で本議案を決議した。

第2号議案 2011年度一般社団法人社会情報学会収支決算

藤井史朗監事は、損益計算書、貸借対照表、財産目録、収支計算書についていずれも適正であることを認めた旨を報告した。

議長は議案を諮り、全会一致で本議案を決議した。

第3号議案 2012年度一般社団法人社会情報学会事業計画

議長は議案を諮り、全会一致で本議案を決議した。

第4号議案 2012年度一般社団法人社会情報学会収支予算

議長は議案を諮り、全会一致で本議案を決議した。

10. 閉会

以上により、本日の議事をすべて終了し、議長は閉会を宣言した。

2012年6月30日

一般社団法人社会情報学会 社員総会

議長 代表理事・社員

伊藤 守

出席社員

廣松 毅

I-2 2012年度第1回一般社団法人社会情報学会理事会

日時：6月30日(土)13:00

会場：中央大学駿河台記念館 650号室

議事：

1. 2011年度事業報告書・収支報告書・貸借対照表・財産目録
2. 2012年度事業計画案(6/7配信済・回覧資料)
3. 2012年度予算案
4. 入会および減額に関する手続き・様式
5. 退会手続き・様式

6. 大会・支部における源泉徴収の扱い（資料なし）

7. 広報・HP委員会の設立

報告事項・その他

8. 2012年度会員状況・納入状況

9. 2012年度収支状況

10. 総務委員会報告

11. 国際委員会報告

12. 九州支部報告

13. 規程（会員集会・個人情報保護）・研究倫理に関する綱領（資料なし）

14. スケジュール案

15. その他

II 2011年度第1回一般社団法人社会情報学会理事会議事録（2012年3月4日開催）

日時 2012年3月4日（日）13:00から

会場 東京大学本郷キャンパス 情報学環6階会議室

出席者 和泉潤、伊藤賢一、伊藤守、太田敏澄、河又貴洋、木村忠正、栗川隆宏、黒葛裕之、五藤寿樹、櫻井成一朗、炭谷晃男、高田洋、田中秀幸、富山慶典、庸松毅、横山正人、吉田寛、
以上理事17名

藤井史朗監事

事務局 今田寛典事務局長、和泉恵子

議題

1 規程・規則案

2 委員会委員長、支部長選出

3 2012年度事業計画案

4 2012年度予算案

5 その他

議事概要

1 伊藤会長の挨拶に続き、2011年度第1回社員総会の報告があった。

資料に基づき、会員規則、会費規則制定の報告があった。

2 資料に基づき、理事・監事の自己紹介を行った。

3 資料、旅費の算出根拠に基づき、黒葛理事より役員旅費規則案についての提議があった。第8条として改廃は理事会の決議の文言を加筆した。規程→規則、事務局長→事務局を修正した。本日より施行する。

4 理事会規則案、支部規則案については、総務委員会で継続協議を行う。

5 資料に基づき、黒葛理事より役員候補者選出規則案について提議があり、それを承認した。

6 資料に基づき、黒葛理事より評議員選出規則案について提議があり、第15条5項について、少なくとも1名を2名以上にする。

7 資料に基づき、黒葛理事より会費規則について提議があり、それを承認した。

8 資料に基づき、黒葛理事より会員規則について提議があり、それを承認した。

賛助会員の事業参加について、申込口数×3で団体会員同様に記載することとした。

会員の異動、博士後期課程について確認した。

9 資料に基づき、黒葛理事より委員会規則について提議があり、文言の訂正を確認した。

伊藤会長、庚松副会長、遠藤副会長より、特設委員会として、渉外委員会設立の提案があり、それを承認した。委員会6として、SR活動、行政、企業との研究交流の促進、日本学術会議ならび

に国内の関係学協会との交流に関することのインターフェースとして、渉外委員会と理念・目的を議論する社会情報学の将来委員会（名称未定）を設立する。社会情報学の将来委員会については特設委員会とする。

北海道支部 高田 洋支部長
東北・上信越支部 正村俊之支部長
関東支部 富山慶典支部長
中部支部 和泉 潤支部長
関西支部 小郷直行支部長
中国・四国支部 栗川隆宏支部長
九州・沖縄支部 河又貴洋支部長

総務委員会 廣松 毅委員長 黒葛裕之副委員長 五藤寿樹副委員長
研究活動委員会 田中秀幸委員長 正村俊之委員長
学会誌編集委員会 遠藤 馨委員長 英文誌担当櫻井成一朗
国際委員会 木村忠正委員長
表彰委員会 太田敏澄委員長 横山正人 西垣 通
渉外委員会 遠藤 薫委員長 炭谷晃男委員長

[特設委員会]

社会情報学の将来委員会 櫻井成一朗委員長、伊藤賢一、吉田 寛

- 10 資料に基づき、太田理事より表彰部会についての進捗が報告された。
- 11 2012年度事業計画案については、各委員会が立案する。
- 12 2012年度予算案については、事業計画案に基づいて作成のため継続審議とする。
- 13 クラウドASP・SaaSイノベーション・シンポジウム(ASIS2012)の後援を承認した。
- 14 SSI設立経費の報告があった。
- 15 HPについては、サーバー開設後、暫定版を公開する。

III 委員会報告

III-1 2012年度第2回（一社）社会情報学会総務委員会議事録案総務委員会

総務委員会委員長 廣松 毅

日 時：2012年6月29日（金）14：00～16：30

会 場：早稲田大学16号館410号室

出席者（敬称略、五十音順）：廣松 毅、黒葛裕之、今田寛典、和泉恵子

議 事

1. 2011年度第1回総務委員会議事録案
2. 2011年度事業報告書・収支報告書・貸借対照表・財産目録
3. 2011年度JASI支部決算（繰越金）の扱い
4. 2011年度JASI・JSIS決算案
5. 2012年度会員状況・納入状況
6. 2012年度収支状況
7. 2012年度事業計画案（配信済・回覧資料）
8. 2012年度予算案

9. 入会および減額に関する手続き・様式
10. 退会手続き・様式
11. 大会・支部における源泉徴収の扱い（配布資料なし）
12. ロゴ
13. 会員集会規程
14. 個人情報保護に関する規程
15. 研究倫理に関する綱領
16. 今田委員・提案事項
17. 五藤委員・提案事項
18. スケジュール案
19. その他

議事内容

1. 資料に基づき、第1回議事録を承認した。
2. 資料に基づき、事業報告書、収支報告書、貸借対照表、財産目録について審議した。
3. 資料に基づき、JASI 支部決算書の報告があった。
4. 資料に基づき、JASI、JSIS の 2011 年度決算案についての報告があった。
5. 資料に基づき、現在の会費状況、納入状況について報告があった。
6. 資料に基づき、現在の収支状況について報告があった。
7. 配布資料に基づき、配信済の事業計画案について報告があった。
8. 資料に基づき、2012 年度予算について審議した。
研究活動委員会 25 万、学会誌編集委員会 15 万、その他 5 委員会は各 10 万円。
委員会予算については、委員会旅費、謝金等すべて含む。
ただし、源泉徴収の税額は本部負担とし、手続きは本部で行う。
支部については北海道、東北支部、関東支部は 5 万円、その他支部は 2 万円。
部会への助成はゼロとする。
9. 資料に基づき、入会手続きについて審議した。
PDF ファイルにパスワードかけたうえで ML へ配信することとした。
10. 退会様式および手続きについて審議した。
11. 源泉徴収については、事前に組み込むこととする。
12. 資料に基づき、応募 4 件について審議の結果、採択なし。ロゴについては再検討とする。
13. 資料に基づき、会員集会規程の概略について意見交換を行った。
14. 資料に基づき、個人情報保護に関する規程に関し、意見交換を行った。
15. 資料に基づき、研究者倫理規程について、意見交換を行った。JASI の規程を参考資料とすることとした。
16. 今田委員より、JSIS 会員の SSI 会費、寄贈学会誌、委員会旅費について提起があった。JSIS 会員納入の SSI 会費については、50%を JSIS 分とし、解散後に残額を SSI へ寄付とすることが提起され、それを承認した。
JSIS の学会誌寄贈図書館については、今後、年間購買購読とする旨の報告があった。
委員会活動における旅費については、各委員会予算内でそれぞれ執行する。委員会は年 1 回、または理事会の際に一堂に会して開催することが望ましい。
17. 資料に基づき、事務局より、業務の委託内容について提起・確認があり、それを承認した。
18. 五藤委員提案の HP、ML 等は、各委員会実務担当者による広報・HP 委員会設立後の継続協議とすることとした。
19. 資料に基づき、年間スケジュールを確認した。選挙についても検討を加えることとした。
20. 学会における表記は原則、西暦とする。

III-2 学会誌編集委員会

学会誌編集委員会委員長 遠藤 薫

学会の創設依頼、7月末現在で9本の論文投稿が行われました。和文学会誌「社会情報学」は年3回の発行を予定しておりますので、会員の皆様のご投稿をメール投稿により随時受け付けております。今夏の研究成果を取りまとめ頂き、積極的なご投稿を頂ければ幸いです。

英文学会誌「Journal of Socio-Informatics」は9月発行を予定しておりますが、英文学会誌の論文募集が間もなく開始されます。英文学会誌の論文募集は年一回限りで、今年度は10月末論文応募締切、11月末原稿締切となります。英文学会誌は当学会が全世界に向けて情報発信するメディアですので、会員の皆様の積極的なご投稿を期待しております。

和文学会誌・英文学会誌の投稿方法その他につきましては、当学会ホームページ(<http://www.ssi.or.jp>)を参照ください。

III-3 渉外委員会

渉外委員会委員長 遠藤 薫

日 時：2012年6月30日 11:00～12:30

場 所：中央大学駿河台記念館 650室

出席者（敬称略、五十音順）：遠藤 馨、河又貴洋、木村忠正、櫻井成一朗、田中秀幸、廣松 毅、福田 豊

議 題

1. 渉外委員会の役割について
2. 社会学系コンソーシアムとの関係について
3. 横幹連合との関係について
4. 日本学術会議などその他団体との関係について
5. 今後の企画提案
6. その他

議事概要

1. 渉外委員会の役割は、外部の学術団体とのつながりを形成し、維持、発展させることにある。
2. 現在連携関係のある大きな外部団体としては、社会学系コンソーシアム、横幹連合などがある。
3. 社会学系コンソーシアムは、従来は、JASI、JSIS それぞれ年1万円の会費で、それぞれから二人ずつ代議員を出してきた。SSIとしての代議員は、廣松先生と遠藤。遠藤が理事に選出されている。
4. 社会学系コンソーシアムの呼びかけで、「世界へのメッセージ」を作成し、2014年世界社会学会議（ISA）横浜大会にて配布するという事業に参加する⇒国際社会に向けた、それぞれの学会からのメッセージを執筆する；

執筆要綱

- ・各学協会の執筆枚数は、10ページ程度（英語4000 words（日本語の場合は10000字））とする。
- ・執筆項目は、概ね、歴史、現状（フォーカスや主要関心）、世界へのメッセージ、3.11以降の課題、その他、コンタクト情報などとする。
- ・執筆要領については、英文はIJJS誌、日本語は『社会学評論』誌に倣う。
- ・提出原稿は英文を原則とする（ただし、日本語からの翻訳やネイティブ・チェックなど必要があれば対応する）。

原稿締切

- ・日本語原稿は2012年12月20日、英文原稿は2013年7月20日。
 - ・英文原稿の場合でも、2012年12月20日までに提出されればなおよい。
5. 横幹連合は、計測自動制御学会を中心とした工学系学協会の集まり。39団体が参加。年会費5万

円。代議員が現在誰なのか確認する必要。田中先生が理事に選出されている。桜井先生、遠藤も、各種委員となっている。今後、連携についての情報をもっと共有することが望ましい。

6. 日本学術会議については、機関誌『学術の動向』の定期購読。学会内に数名の連携会員。
7. 韓国の Cybercommunication Academic Society の連携。九州支部からの提案。河又先生が窓口。
8. 渉外委員会は、外部組織、団体との窓口なので、国際委員会、研究企画委員会と情報共有することが重要
9. 国際委員会を、渉外委員会の下部とすることもありうるが、まずは現在の委員会構成で活動していく。
10. 他学会（人文社会科学系／必ずしも「情報」を前面に出してはいない学会）でも情報技術のインパクトを考察する研究会ないし活動が目立ってきている。そうしたところとの連携は双方の学会にとって大きなメリットをもたらすものと考えられる。渉外委員会は、こうした連携の推進・支援をするとともに、その窓口となるのも重要な任務であろう。

（付記）この他の連携活動として、20112年3月には、計画行政学会との共催による若手支援研究会も開催されている。

III-5 国際委員会

国際委員会委員長 木村忠正

太田敏澄（電気通信大学）会員が国際委員会委員に加わりました。

【委員会】

2012年7月28日13時30分～14時30分、東京大学駒場キャンパスにて、第1回国際委員会開催

出席者：遠藤 薫、太田敏澄、横井茂樹、木村忠正

議 事

A) 国際委員会のミッション

渉外委員会との活動区分について、メタレベル、学会間関係の取り決めなどは、渉外委員会、それに対して、具体的なイベント、会議、WSの共催などは国際委員会、ととりあえず、大きな役割分担の枠組みで活動する（活動の進捗に応じて、随時見直す）。

B) 活動の基本方針

「SSIに関連する国際学会・会議などの日程についての情報収集と提供」を基本的な活動項目に追加する。

C) 国際会議共催関係

以下、「事業報告」参照。

D) 国際会議開催応募

E) 社会情報学会 第1回国際貢献賞推薦について

F) SSI 広報・HP 委員会

G) 予算について

H) その他

【事業報告】

国際会議共催

9月4日～7日に台北で開催される4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012)におけるワークショップ Social Media and Simulation in Social Informatics を SSI 共催として開催

学会 HP <http://www.aiecon.org/conference/wcss2012/>

WS HP <http://www.aiecon.org/conference/wcss2012/workshop.htm>

ICIS2012 (<http://icis2012.aisnet.org/>) における、JPAIS (Association for Information Systems 日本支部) /JASMIN (経営情報学会) International Meeting を SII として後援を予定。

IV 2012年社会情報学会(SSI)学会大会

2012年社会情報学会(SSI)学会大会実行委員会 森谷 健(群馬大学)

学会大会の準備にご協力をいただき、ありがとうございます。現在、自由報告およびワークショップのプログラムは次のようになっております。今後、微調整の可能性も皆無ではございませんが、現状報告とさせていただきます。

なお、特別講演およびシンポジウム2本につきましては、鋭意内容を詰めております。これにつきましては、Webで準備状況をお知らせして参ります。

【自由報告】

○ 発表者 ◎ 大学院生発表者

9月14日(金)	
12:30~14:30	
情報化と情報システム【GC310】 座長：五藤寿樹(日本橋学館大) コメンテーター：富山慶典(群馬大)	
「営業支援のための内見顧客推薦システムの提案」	◎安藤孝・小川祐樹・諏訪博彦・太田敏澄
「コミュニティ・ネットワークの新たな展開と直面する課題」	○天野徹
「電子雑誌が与えたインパクトについての考察」	◎能勢翔・福田豊
「差異としての情報」	◎霜山博也
情報社会論(インターネット)1【GC308】 座長：遠藤薫(学習院大) コメンテーター：櫻井成一郎(明治学院大)	
「ネット上での利他的な情報発信がテクノ依存症傾向とQOLに与える影響」	◎乾貴史・廣田智明・尾関邦義・坂部創一
「テクノ依存症傾向のうつ傾向に及ぼす影響に関する研究」	○坂部創一・山崎秀夫
「障がいのある方々のインターネット利活用の実態に関する調査」	○山内真由美
地域情報1【GC218】 座長：森谷健(群馬大) コメンテーター：小竹裕人(群馬大)	
「ICTによる伝統文化の再生に向けた試み」	◎大貫佑・米倉達広
「地域情報の蓄積・共有を目的としたWeb-GIS構築」	◎山田脩二・山本佳世子
「地域イノベーションにおける多面的近接性と相互作用」	◎佐藤美樹代・野田哲夫・丹生晃隆
メディア・情報行動(SNS)1【GC216】 座長：岩井淳(群馬大) コメンテーター：北村順生(新潟大)	
「Twitterを利用したライブ体験共有のコミュニケーション—お笑いオーディエンスを中心として—」	○高橋みちな
「情報セキュリティ行動ログをツイートする情報共有システムの提案」	◎原賢・関良明・諏訪博彦
「ソーシャルメディア実践的活用によるパーソナルブランディング」	○河野義広・大部由香・岸本頼紀・山口崇志
「主要SNS mixi, Twitter, Facebookの利用調査に基づく性質の相違点」	○樋口雄太郎・河野義広
企業・産業・経済1【GC217】 座長：田中秀幸(東京大) コメンテーター：嶋崎真仁(秋田県立大)	
「プラットフォームによる企業間連携の質的变化について」	◎赤穂満・福田豊
「コンテンツ産業の進化理論に関する検討—レコード産業の進化モデルの第四段階仮説」	○加藤綾子
「経済専門辞書を用いたテキストマイニングによるインターネット株式掲示板の投稿分析に関する研究」	◎和田英一・諏訪博彦・太田敏澄
「商品接触過程に基づく顧客の迷いに関する研究」	◎西名亮・諏訪博彦・小川祐樹・太田敏澄
9月15日(土)	
09:30~11:30	
情報社会論(国際化)【GC310】 座長：平田知久(京都大) コメンテーター：岡田勇(創価大)	

「Consideration and proposal on Nagoya's tourism website design for attracting Chinese tourists」	○ドウゲンティール・横井茂樹
「日韓のスマートフォン普及差異比較研究 —イノベーション政策を事例に—」	◎趙章恩
「日韓の航空会社における企業・サービス間が結ぶマイレージプログラムのネットワーク可視化」	◎林相勲
「リスクマネジメントに関する ISMS 要求事項改訂における課題と対応」	廣松毅・◎相羽律子
情報社会論（インターネット）2【GC308】 座長：櫻井成一郎（明治学院大） コメンテーター：吉田純（京大）	
「ICTの発展によるオタクコミュニティの変化と協働」	◎永井睦美・福田豊
「コミュニケーションの推論モデルによる「集合知」の構造分析の試み」	◎岡野匡志・三上達也
「インターネット利用が学生に与える自己啓発効果の分析」	◎尾関邦義・廣田智明・乾貴史・坂部創一
「インターネットツールが対話力に与える影響について」	◎廣田智明・乾貴史・尾関邦義・坂部創一
地域情報2【GC218】 座長：山本佳世子（電気通信大） コメンテーター：河又貴洋（長崎県立大）	
「オープンソース CMS を活用した地域力向上支援サイトの構築」	○福安真奈・浦正広・八橋麻利子・遠藤守・山田雅之・宮崎慎也・安田孝美
「プロジェクト型学習による地域サイトのためのコンテンツ作成・管理の実践」	○林康弘・松崎智・清木康・小松川浩
「「ソーシャル・メディア」と政治選択行動—自治体 U 町における町議会選挙公開制作討論会の実践から—」	○中俣保志
「地域コミュニティ運営を支援するための ICT 利活用」	○浦田真由・安田孝美
メディア・情報行動（SNS）2【GC216】 座長：橋元良明（東京大） コメンテーター：岩井淳（群馬大）	
「ソーシャルメディア上における仲介促進要因の検証」	◎滝沢惟・佐伯辰大・米倉達広
「東日本大震災における各新聞社のツイッター利用の差異」	◎福武亨・藤代裕之・河井孝仁
「ゲーム依存の現状と対策—個人的視点と社会的視点から」	阿部圭一・◎大嶋啓太郎・小田哲久
「震災時における Twitter ネットワーク分析」	○石原祐規
企業・産業・経済2【GC217】 座長：榊俊吾（東京工科大） コメンテーター：藤井亨（榊日立製作所）	
「情報と不均衡の実証分析に向けて」	◎村館靖之
「オープンソース・ソフトウェアの市場価値と情報サービス産業の生産性に関する実証分析とその考察」	○谷花佳介・野田哲夫
「主体性のあるリソースで構成する環境適応組織の仕組み」	◎向井大誠・諏訪博彦・太田敏澄
「カンボジアにおける産業クラスター形成の可能性に関する一考察—プノンペンとシハヌークビル港の2つの経済特別区の事例比較を中心に—」	○税所哲郎
9月16日（日）	
09:30~11:30	
情報社会論（理論）【GC310】 座長：正村俊之（東北大学） コメンテーター：伊藤賢一（群馬大）	
「贈与としての情報」	○曾我千亜紀・井上寛雄・山田庸介・霜山博也・大澤健司・米山優
「「不良回答」がSDデータの分析結果に及ぼす影響について」	○早川敬一・山田文康・高嶺一男
「SD調査法における項目提示の無作為化による回答への影響」	○山田文康・早川敬一・高嶺一男
「情報の性質に関する考察—試論その2」	○阿部圭一
情報社会論（心理）【GC308】 座長：是永論（立教大） コメンテーター：安田孝美（名古屋大）	
「心理主義の限界とアーキテクチャの可能性」	◎萱間隆・田口了麻
「ポイント付与がユーザー行動に与える影響に関する研究」	○吉見憲二
「高校生女子の人間関係悪化とメール利用の関係」	◎加藤千枝
電子自治体【GC218】 座長：久保貞也（摂南大） コメンテーター：新川達郎（同志社大）	

「自治体公式 Twitter の利用実態及び発信情報に関する考察」	◎上野亮・飯島泰裕
「行政情報システムの構築方法についての考察」	○劉継生
「グラフデータベースを用いたサービス疎結合支援基盤」	○寺菌淳也・山崎治郎・久田雅之・戸倉一・鈴木太郎・渡辺曜大・矢口勇一・成瀬継太郎・宮崎敏明・福原英之・岩瀬次郎・林隆史
「アメリカ連邦政府における電子政府政策 ―クリントン政権からオバマ政権へ―」	◎本田正美
災害情報【GC216】 座長：中森広道（日本大） コメンテーター：柴田邦臣（大妻女子大）	
「東日本大震災におけるソーシャルメディアを利用した情報流通の特徴」	○藤代裕之・河井孝仁
「東日本大震災における域外避難者への情報保障」	○河井孝仁
「震災時におけるソーシャルサーチの活用に関する分析」	◎三浦大樹・諏訪博彦・鳥海不二夫・鬼塚真
「被災写真とメディア：「思い出サルベージ」被災写真返却活動の現場から」	◎溝口佑爾
企業・産業・経済3【GC217】 座長：太田敏澄（電通大） コメンテーター：大野富彦（群馬大）	
「We've Seen it Before: How Hollywood is Rebranding Asia Piece by Piece」	○Robert DAY・Hideyuki Tanaka
「都道府県立病院における経営改善情報に関する一考察」	○今井正浩
「会計的意思決定によるトランザクションベース・マクロ経済モデル構想：産業連関表ベースのシミュレーション試論」	○榎俊吾
14:00～16:00	
情報教育【GC308】 座長：吉田寛（静岡大） コメンテーター：大國充彦（札幌学院大）	
「博学連携による金環日食教室のためのタブレット端末用デジタル教材の設計と開発」	○赤尾恵里・遠藤守・中貴俊・岩崎公弥子・毛利勝廣・安田孝美
「博学連携に基づく金環日食のレクチャーの開発と実践」	○岩崎公弥子・山本あや加・遠藤守・毛利勝廣・安田孝美
「ジャーナリストのプロフェッショナル性についての教育学的一考察」	○小田光康
「情報倫理と医療倫理の共通点に関する考察」	○水野義之
災害・環境【GC216】 座長：河井孝仁（東海大） コメンテーター：関谷直也（東洋大）	
「「東日本大震災」以降の「緊急地震速報」に対する人々の評価」	○中森広道
「福島原発事故後の放射線情報可視化における自己決定権の課題」	○水野義之
「大気拡散モデルを用いた廃棄物焼却炉の環境リスクの評価」	◎石井真和・山本佳世子
「災害発災時における地方自治体の情報システムの活用策」	○吉田博一
企業・産業・経済4【GC217】 座長：廣松毅（情報セキュリティ大） コメンテーター：野田哲夫（島根大）	
「情報通信サービス産業の生産と雇用の波及効果―2005年産業連関表による分析―」	○塚原康博
「サービス発展モデルの構築に向けた一考察―日立建機(株)の事例に基づく、サービスイノベーションによる利益創出の分類の枠組みからの考察―」	○藤井亨
「関係性マーケティングにおけるポイントプログラムの効用」	◎寺地一浩・近勝彦

【ワークショップ】

9月14日（金） 12:30～14:30	
【GC309】	
「東日本大震災における情報行動・消費行動と不安・安心意識」	山本太郎（NTT）橋元良明（東京大）関谷直也（東洋大）小笠原盛浩（関西大）千葉直子（NTT）
9月15日（土） 09:30～11:30	
【GC309】	
「気仙沼のいま：情報の共有と長期的支援について考える」	橋爪絢子（首都大）桑原吉成 桑原吉成（Act11. 気仙沼）椎塚久雄（工学院大）本田ハワード素子（昭和女子大学）三浦一樹（三陸新報社）
9月16日（日） 09:30～11:30	
【GC303】	
「恋愛ドラマ等に見るケータイのメディア表象」	伊藤守（早稲田大）谷本奈穂（関西大）遊橋裕泰（ドコモ・モバイル社会研究所）中村隆志（新潟大）
【GC309】	
「Adoption of Social Networking」（若手英語ワークショップ）	平田知久（京都大） 他（調整中）
14:00～16:00	
【GC309】	
「ゲーム依存症の対策を考える」	伊藤賢一（群馬大）三原聡子（久里浜医療センター）堀川裕介（東京大）大嶋啓太郎（愛知工業大）
【GC303】	
「複合メディア環境におけるスクリーンの遍在－「メディアコンプレックス」と考古学の視点から」	毛利嘉孝（東京藝術大）大久保遼（東京大）光岡寿郎（日本学術振興会）

V 事務局より

V-1 2011年度一般社団法人社会情報学会事業会計収支報告（単位：円）

収入	400,000	
寄付金		400,000
日本社会情報学会（JASI）		200,000
日本社会情報学会（JSIS）		200,000
支出	406,166	
管理費	406,166	
事務局運営費		242,070
創業費		164,096
収支差額	-6,166	
次期繰越収支差額	-6,166	

V-2 会員の状況

7月31日現在、702名です。名誉会員7名、正会員615名、学生会員70名、

団体会員 10 団体、賛助会員 0 団体

V-3 会費納入状況（納入率）

正会員 72.8%

学生会員 68.5%

団体会員 100%

V-4 会員の入会（2月27日～6月30日）

学生会員

樋口 邦史	学生会員	東京理科大学大学院
霜山 博也	学生会員	名古屋大学情報科学研究科
竹村 朋子	学生会員	立命館大学大学院社会学研究科
岡野 匡志	学生会員	立命館大学大学院政策科学研究科
大内 斎之	学生会員	新潟大学大学院現代社会文化研究科
柳 文珠	学生会員	東京大学大学院学際情報学府
橋本 嘉代	学生会員	お茶の水女子大学
中谷 勇哉	学生会員	静岡大学大学院情報学研究科
高橋みちな	学生会員	東京大学大学院学際情報学府
能勢 翔	学生会員	電気通信大学大学院情報システム学研究科 积迦知能情報学専攻
河田 隆	学生会員	筑波大学大学院
坂 明信	学生会員	電気通信大学大学院情報理工学研究科
福武 享	学生会員	早稲田大学大学院政治学研究科
菅野 隆	学生会員	群馬大学大学院社会情報学研究科

正会員

河野 義広	正会員	東京情報大学情報システム学科
岡本 剛和	正会員	東京大学大学院情報学環
杉浦 昌	正会員	日本電気(株)経営システム本部
杉本 達應	正会員	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科
椎塚 久雄	正会員	工学院大学情報学部
大野 富彦	正会員	群馬大学社会情報学部
山内 春光	正会員	群馬大学社会情報学部
藤井 享	正会員	株式会社日立製作所
辻 正次	正会員	兵庫県立大学大学院
相羽 律子	正会員	株式会社日立製作所 情報通信システム社
渡辺 謙仁	減額会員	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

V-5 会員の訃報

A960013 田崎篤郎 名誉会員 1996年入会

7月26日ご家族から訃報の連絡がありました。

会員の訃報をお知らせするとともに、田崎さんのご冥福をお祈りいたします。

合掌

V-6 寄贈図書

○札幌学院大学総合研究所編，伊藤 守・岩上安身・増永良文・正村俊之：『震災を乗り越える社会情報学－札幌学院大学総合研究所シンポジウム，札幌学院大学社会情報学部開設 20 周年記念 札幌学院大学

総合研究所 BOOKLET No. 4』, 札幌学院大学総合研究所, 2012.

V-7 財団法人電気通信普及財団

海外渡航旅費援助

4月、6月、8月、10月、12月、2月、の各1日までにご応募ください。(期日厳守)

http://www.taf.or.jp/fbunka/D_ktoko.html

V-8 『第4回横幹連合総合シンポジウム』

日時: 11月1日(木) ~ 2日(金)

会場: 日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス

大会HP: <http://www.trafst.jp/sympo2012/index.html>

V-9 教員公募

静岡大学情報学部情報社会学科 教員(講師または准教授)1名公募

担当科目: 全学教育科目「ドイツ語」、学部専門科目の「公共圏論」「情報技術思想論」「情報社会思想」、大学院

応募期限 2012年10月15日(月) 消印有効

詳細 http://www.inf.shizuoka.ac.jp/data/news/20120723_id354/ia-ap_koubo20120719.pdf

V-10 一般社団法人社会情報学会 (SSI) 2012年度第1回理事会議事録

ニュース No.3 で報告します。